

# 折尾愛真ニュースレター

学園聖句：「光の子らしく歩きなさい」

(エペソ人への手紙5章8節)

Vol. 14

2009年 5月  
2号

## 建学の精神

Since 1935年(昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教育における職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。



折尾愛真高等学校

普通科／看護科・看護専攻科／商業科

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100(代表) FAX 093-692-5690

E-mail:info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

## 創立記念式

## 創立74周年

4月24日(金)、創立74周年記念礼拝がパターソンホール講堂であります。毎年記念講演には活躍している卒業生を迎えて今回で4回目となりました。今年は1988年看護専攻科を卒業した田中美恵子さんをお迎えし、「夢をあきらめないで」と題し東京での貴重な体験談や経験を通しての講演となり生徒も真剣に聞いていました。現在は済生会八幡総合病院に勤務され後輩の指導に活躍されています。



講演中の田中美恵子さん

## 福祉コース

### 介護福祉士国家試験

### 養成高校として認可

平成21年度より、社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正に伴い、福祉系高校では、教科目及び時間数が大幅に増加し(右図参照)内容等について基準が課されることになりました。

本校も国家試験養成高校として認可がなされ、それに伴い、授業時数の増加と施設実習期間の延長と今年度より充実したカリキュラムにより高い合格率をめざします。



すべてのルートで、国家試験を受験し資格を得るように変更

#### 福祉系大学・ 養成施設ルート

(厚生労働大臣の施設指定)

養成施設2年以上  
(1800時間)

#### 福祉系高校ルート

(文部科学大臣及び厚生労働大臣の学校指定(新設))

福祉系高校  
(1800時間程度)

#### 実務経験ルート

(厚生労働大臣の施設指定  
(新設))

養成施設6月以上  
(600時間)

+  
実務経験3年以上

国家試験

## 親睦遠足

4月28日(火)、親睦遠足が1年生は小倉北区の到津の森公園、2・3年生は八幡東区のスペースワールドで行われました。天気にも恵まれそれぞれの場所で楽しい一日を過ごしました。



## 特進コース

## 特別講座始まる

今年度も北九州予備校の先生方による特別講座が5月9日(土)より始まりました。生徒たちは2年目とあって真剣な態度で授業に臨んでいました。同時に、1年生は行友久典先生(北九州予備校 黒崎校主任)による進路講演会があり、3年後の進路決定に向けて聞き入っていました。



## 折尾愛真株式会社設立

### 商業科

5月16日(土)、商業科を中心に折尾愛真株式会社を設立。マネージメントの実践的経営を学ぶために立ち上げました。商品の製造・販売・管理等より実践的な授業が期待されます。

### お知らせ

#### 高校1年宿泊研修

日程: 5月25日(月)~26日(火)  
場所: 夜須高原青少年自然の家

#### 後援会総会

## 製菓衛生師コース特別講演会

日時: 平成21年6月2日(火)

## 学校見学会のご案内

- 第1回 平成21年 7月11日(土)
- 第2回 平成21年 9月26日(土)
- 第3回 平成21年10月24日(土)

## 高校生のための文化講演会

- 日程: 6月9日(火) パターソンホール4F
- 講師: 岸本裕紀子氏(エッセイスト)
- 演題: 「オバマのすごさ シニシズムの懐抱はとらない!」

## ボランティア講習



財団法人北九州YMCA地域活動事業部  
(体操・キャンプ・語学)  
部長 竹迫英里先生

5月9日(土)、看護科1年生を対象にボランティア講習会があり、今年度も竹迫英里先生をお迎えし、目的や活動報告などの講習を受けた。既に中学時代にゴミ拾いや施設訪問などの経験をしている生徒たちもいる中、講習では「義務としてではなく、自分たちの意思に基づいてするもの」と強調され、生徒達も今後積極的にボランティア活動に参加したいとポジティブな感想を述べていました。

## 韓国からの留学生

韓国の姉妹校京花女子高等学校からの交換留学生4名は、元気に1年間の学びに入り積極的に日本文化を学んでいます。



日本での感想を聞いてみると、「景色や文化が韓国に似ているのに驚きました。また、食べ物も生姜や梅干し以外はとてもおいしかったです。」と、これから留学生活に期待を寄せていました。

パク ボミ、イ イエジ、  
ホン ソヨン、シン ソヨン